

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業		事務事業名 福祉マップ更新事業（緊急雇用創出推進事業）	
区分	番号	名称	
章	1	やさしさと共生するまち	
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる	
施策	3	障がい者福祉の確立	
小分類	2	障がい者（児）の自立促進	
主要な施策	6	生活環境の整備	
事務事業番号	007	事務事業コード 13326007	事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度
会計種別	一般会計		予算書上の事務事業名 福祉マップ更新事業（緊急雇用創出推進事業）
部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
統合前または名称変更前の事業名			

事務事業の目的と成果	
目的	<p>（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>市内施設のバリアフリー等の情報を「福祉マップ」としてまとめ、市のホームページに掲載している。最終更新が平成19年7月であり、その後に施設の新設・閉鎖などの変更があることから、再調査を行い、「福祉マップ」掲載情報の更新を行う。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p>（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内施設のバリアフリー等の情報の調査 （既存施設は書面による変更箇所の調査、新築施設は現地確認調査を行う）</li> <li>ホームページ更新（調査結果の反映）</li> </ul>
成果	<p>（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>市のホームページ「福祉マップ」の情報更新を行った（平成23年1月6日）。</p>
根拠法令等	<p>（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p>

指標の推移							
区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
成果指標	福祉マップの更新	目標値	-				
		実績値	234				
		目標値					
		実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	1,292					0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			1,292	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	0	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市のホームページに公開している情報であるため。また、変更点などについても、市で把握・更新していくことが適当であるため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 福祉マップの更新を完了した。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後についても、定期的に見直しが必要である。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 今後についても、定期的に見直しが必要である。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	緊急雇用創出推進事業としての市のホームページの「福祉マップ」の更新が完了したため。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）